

# 再整備に向けた新 技術を支援します

## 排水不良ほ場の原因追求を行っています（土改連自主研究）

本会では、平成29年度から暗渠排水に関する自主研究を行っており、ほ場の排水不良改善に向けた調査・研究に取り組んでいます。



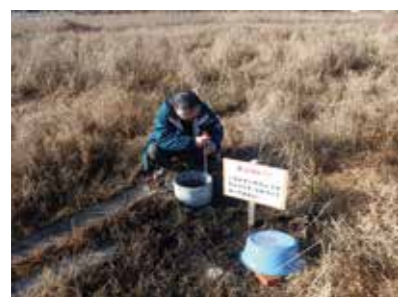
既設暗渠の確認



硬化層の確認



試験孔の設置



地下水位調査

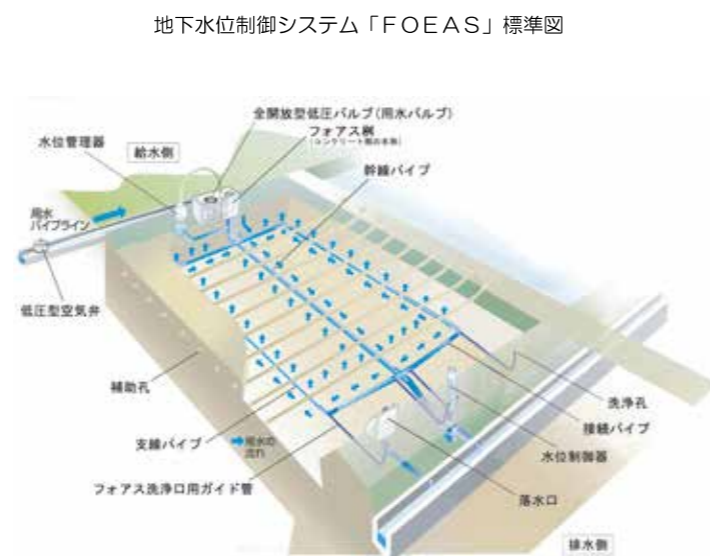
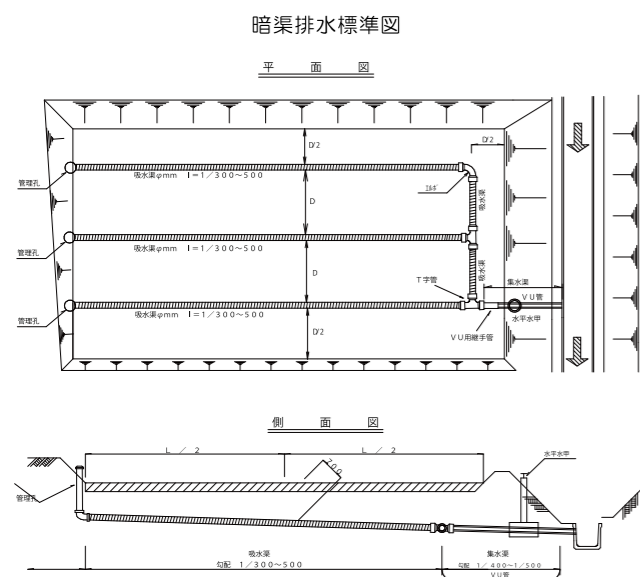


現場透水試験



改善方法の提案

長年、排水不良ほ場に悩んでいた原因を追求し、改善するための対処方法や工法等を提案します。



## 農業用水の節水や用水管理労力軽減のためのICT化を研究しています（土改連自主研）

本会では、農業農村整備事業におけるスマート農業化に向け、令和元年度から「水田の水管理を遠隔・自動制御化するほ場水管理システム（用水管理のICT化）」をテーマとした自主研究を行っています。

### ◆自主研究の目的

- ①鹿児島県での実証データ（用水節水量、用水管理労力軽減）の収集
- ②ほ場水管理システムの操作性及び利便性の検証
- ③事業導入を視野に入れたほ場水管理

### ◆水田の水管理を遠隔・自動制御する利点

- 利点1：スマートフォンにて水位状況が確認でき、バルブの開閉も遠隔で行えるため、担い手の水管理労力が軽減され、担い手への農地の集積・集団化が進む。
- 利点2：水管理を手軽に小まめに行えるため無効放流が減少し用水量が節約され、ポンプ加圧地区のパイプライン地区では、ポンプ稼働時間の減少により電気料金が経済的となる。
- 利点3：かん水時間の設定が可能のため、夜間かん水や間断かんがい等が可能で温暖化による米の白化現象の防止など品質向上に向けたかん水が可能となる。



問い合わせは、事業部農村整備課または最寄りの事務所・支部まで